

令和5年度 賛助会員様

奈良県手をつなぐ育成会へのあたたかいご支援に心より感謝申し上げます (順不同敬称略)

- <団体会員> 奈良パイロットクラブ すぎの子会すぎの子苑 認定 NPO 法人きらの木
 社会福祉法人大和高田育成福祉会 NPO 法人あるふぁ 社会福祉法人いこま福祉会
- II 団体様 NPO 法人リハビリほっかつ広陵町すみれ作業所・第2すみれ作業所
 NPO 法人リハビリほっかつ河合町福祉作業所 NPO 法人リハビリほっかつ上牧町福祉作業所
 社会福祉法人奈良県手をつなぐ育成会
- <個人会員>
- | | | | | | |
|--------|--------|--------|----------|--------|------------|
| 杉本 幸弘 | 甲斐 裕美男 | 嶋 美春 | 土谷 行宏 | 宮本 博行 | 竹川 勝彦 |
| 高瀬 一代 | 中野 恒男 | 永畑 瞳 | 泉平 康王 | 西岡 香崇子 | 嶋田 ひとみ |
| 佐藤 宣三郎 | 森岡 依子 | 松川 泰章 | 辻本 寿子 | 阪口 貴子 | 西尾 香織 |
| 川井 重明 | 竹原 陽介 | 増田 誠 | 中山 志津香 | 新内 智子 | 山田 修 |
| 中西 洋子 | 松村 都史子 | 阪田 尚己 | 三好 淳子 | 山岡 國廣 | 住本 友成 |
| 米田 堅介 | 生野 弘明 | 都築 礼子 | 中島 康宏 | 山岡 富美子 | |
| 丸岡 翔太 | 仁司 千春 | 西峯 健太郎 | ジョイア・ミア! | 山本 博子 | |
| 久保 博司 | 奥田 章博 | 中坊 義弘 | | | (他、匿名で2名様) |



令和6年度も賛助いただきますよう、よろしくお願いたします



1. 名称：一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会賛助会員
2. 賛助会費：個人：1口 1,000円 団体：1口 10,000円 (個人、団体ともに年額。期間4月1日～3月31日)
3. 申込先：〒634-0061 奈良県橿原市大久保町 320-11 奈良県社会福祉総合センター内
一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会 TEL：0744-29-0150 FAX：0744-29-0151
4. 送金方法：郵便振替：「賛助会員申込書」をFAXにて送信下されば郵便振替用紙を送付いたします。
現金支払：「賛助会員申込書」にご記入の上、県育成会へご持参ください。
5. その他：ご入会いただいた方につきましては、ご芳名を本会会報紙に掲載させていただきます。

令和6年度予定

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 6月7日(金) | 一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会総会 |
| 6月30日(日) | 本人の会サンメイト総会 |
| 11月28日(木) | 第53回一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会研究大会 |

編集後記

機関紙「手をつなぐ親たち」142号をお届けいたします。
 コロナが5類になって会員外の方への働きかけも容易になり、研究大会とつどい研修会には、多くの方に参加いただくことができました。また、啓発キャラバン隊も地域のお祭りなどにブースを構え、障がい理解を深める活動も始めています。「手をつなぐ育成会」をより知ってもらえる機会となっています。
 広報委員会では、一人でも多くの方に読んで頂けるよう心がけ編集に励んでいます。
 ご意見、ご感想をお気軽にお寄せ下さい。
 ホームページでは、活動報告の詳細やサンメイト美術館などもご覧いただけます。
 「一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会」で検索・または右のQRコードからご覧ください。



業務日時のお知らせ

業務時間を月～水・金曜日の9：30～16：30とさせていただきます(木曜日は休み)。よろしくお願いたします。

奈良県障害者相談窓口 (障害を理由とする差別に関する相談窓口) 0742-27-8088 (開設：月～金 9時～17時) (祝日・年末年始は除く) 詳しくは奈良県障害福祉課まで

ひとりで悩まないでね。



奈良県手をつなぐ親たち

第142号

令和6年3月31日発行

[発行]一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会
 [県事務局]〒634-0061
 奈良県橿原市大久保町 320-11
 奈良県社会福祉総合センター内
 ☎ 0744-29-0150 FAX 0744-29-0151
 HP <http://ikuseikai.sakura.ne.jp/wp/>
 [発行責任者] 理事長 住本 友成
 [編集責任者] 有働 和美



一般社団法人 奈良県手をつなぐ育成会
理事長 住本 友成

目次

- 1 ごあいさつ
一般社団法人
奈良県手をつなぐ育成会
理事長 住本 友成
- 2 寄稿
奈良県特別支援学校長会
会長 中井 和代 氏
(奈良県立明日香養護学校長)
- 3 寄稿
奈良県特別支援学級及び
通級指導教室設置学校長協会
会長 杉田 美恵 氏
(天理市立柳本小学校長)
- 4～6
奈良県手をつなぐ育成会活動報告
自立更生者・
更生援護功労者表彰
一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会
会長表彰
- 7 二十歳の皆様
おめでとうございます
- 8 令和5年度賛助会員様
令和6年度予定
編集後記

ごあいさつ

はじめに

令和6年1月1日、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する地震が発生しました。建物の倒壊や津波の被害、それに伴う大規模な火災等で241人の死者が確認されました。ご冥福をお祈り申し上げます。また、一日も早く以前の生活に戻る日が来ることを祈ります。私も以前、施設の皆さんたちとの能登半島一泊旅行で、白米千枚田や輪島朝市に行ったことを思い出し、言葉では言い表せない気持ちになりました。

令和5年度の取り組みから

会創設60年を超える全国の育成会では、親の高齢化や他界によって、退会者が増加してきているようです。また、以前は新規加入者であったはずの若年層の育成会離れが顕著となり会員減少が進んでいます。
 若年層の親御さんたちに「なぜ、育成会が必要なのか」また「育成会の活動」を知ってもらえるように、地域の小・中学校の支援学級や知的の特別支援学校の保護者に「一般社団法人奈良県手をつなぐ育成会」「奈良県手をつなぐ親たち」「本人の会・全員集合」のリーフレットや「研究大会」「つどいの研修会」の案内を学校から配布していただきました。その結果、以前より多くの会員外の親御さんや関係機関の人たちが参加してくれました。嬉しいかぎりです。今後もこのような取り組みを実施すると共に組織が一丸となって手と手を繋ぎ合っていきたいと思っております。

組織について

組織とは、人が関わる集合体です。協働することで強みを発揮させたくえに相乗効果を生み、結果大きな成果を上げることを可能としています。組織というのは、個人では獲得できない大きな利益を獲得するために存在していると言われております。組織力の高い事業所等の特徴は「助け合いの精神がある」「コミュニケーションが活発」「人材育成制度が機能している」「理念、未来像が浸透している」ことだと思っております。

私たちの育成会も我が子の応援団として、一人ではできないことも信念を持って組織の力で活動を続けることによって、若年層の親御さんの心に伝わり入会していただくことに繋がると期待しています。

小さな植木鉢の中で、みんながなかよく大きくなり、美しい花を咲かせてくれた5株のペゴニア

